

事業所名

I G Lバるすくすくキッズ

支援プログラム

作成日

2026年

7月

1日

法人（事業所）理念		「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」（聖書ルカによる福音書10章27節） 人として命をいただいた一人一人が喜びをもって、社会で共に成長し、共に生きることを目指す。								
支援方針		子どもの個性を尊重し、一人ひとりに応じた支援を行う。 ① 遊んで学び、子どもの「できる！」を支援して達成感を得る。 ② 自分や他人の感情や状況を理解し、好ましい人間関係を築く。 ③ 家庭との連携を大切に個々の発達状態課題を把握し身近な人の援助を受け、基本的生活習慣の自立を目指し子どもの成長と一緒に見守る。								
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状況（アレルギー・薬の服用など）を把握したり、生活リズムを整えることを保護者とともに考え、健康に過ごせるように取り組みます。 自分の心と体の状態を客観的に把握する力を養い、健康な生活を送るために自分自身で心と体をコントロールできるように支援する。 基本的生活習慣形成に向けて、個々の特徴を知り成功体験に繋がるよう支援し自立を助ける。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合的視点からサーキット活動を取り入れ、運動能力の向上、バランス感覚の育成を支援する。 トランポリンや様々な遊具などを通して、五感（触覚・視覚・聴覚・味覚・臭覚）固有受容覚・前庭覚の偏りを統合することにより、運動・学習 また、日常生活における様々なしんどさを軽減することができるよう支援する。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 知育玩具（紐通し、パズル、積み木、ペグさし等）で楽しみ遊び、認知を鍛える、学習面・社会面・身体面における困り感を解消できるように支援する。 集団ゲーム等を楽しみ、社会性、身体の使い方を支援する。 行動へのアプローチについては、個々の特徴を知り絵カード等を使い次への見通しを持ち、主体的に動けるよう導線を明確にする。 個別カードを作り、始まりと終わりを分かりやすく環境を整える。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や絵カードお話し、わらべうたなどを取り入れ、感情、視覚、聴覚で理解できるよう導き、コミュニケーションの基礎的能力の向上、人との相互作用による コミュニケーション能力を獲得し、他者との良い関係が出来るよう支援する。 発語以外のコミュニケーションへの配慮、聴覚処理の困難に対する配慮や、需要言語への支援を行う。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団ゲームや遊びを通して、役割交代、順番、感情調節など支援しながら、友達と関わる楽しさを知り、良い人間関係が築けるよう支援する。 成功体験を通して自尊感情を育み、主体的に他者と関わろうとする意欲を育てる。 対人関係が苦手な子への段階的アプローチ（個別→並行遊び→共同遊びなど）支援する。 								
家族支援		療育時間内に保護者との情報交換を行い、日々奮闘している保護者を支える。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 今支援していることが、どのようにつながっているか保護者に伝える。 支援内容等について、こども園との連携を図る。 小学校進学に向けての情報共有を行う。 一人で抱えない、みんなで考える会。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の通所支援施設事業所との交流と情報交換、認定園等と連携を図る。 情報を共有し一人ひとりの子どもが自分らしく成長する。 地域に受け入れられ安心して生活する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフの専門的スキルの向上を図る。 外部から、専門家を招いたり、スタッフ研修会を実施し全スタッフの専門的スキルの向上を図る。 			
主な行事等		夏祭り、クリスマス等								